

KRC WEB REPORT

徒然想

ここ広島では、多くの方が8月6日午前8時15分になると爆心地に向かって1分間の黙祷をします。私も今年は全国の有志の方と共に黙祷いたしました。ひたすら心から平和を祈るとき、人の顔には邪念が入りません。その顔はとても綺麗なとも思います。子供も大人も、こんなにも大勢の人が平和を祈りながら、それでも世界は平和だと胸を張って言える状況ではありません。しかし私たちが取り組んでいる技術のことを広い視野で考えてみますと、それは人々の暮らしを縁の下で支え、そして幸せな日常生活を送れるように力強く存在しています。技術者の力は、世界を平和にする力の一つであると、胸を張っていたいと思います。希望ある未来のために貢献できれば何よりです。

TECHNICAL TOPICS KRCの技術情報はこちら

土木コンクリート構造物の品質管理 鉄筋の配筋状態およびかぶり厚さの非破壊検査

コンクリート構造物の耐久性を確保・向上するためには、設計・施工・維持管理の各段階において、品質管理や検査の充実等、充分な対応が必要となってきます。

そこで、平成17年度よりコンクリート構造物(新設)の品質管理として、構造物の耐久性に関わる鉄筋の配筋状態、かぶり厚さについて非破壊検査(電磁波レーダ法、電磁誘導法)を行うことが規定されました。

対象構造物としては、新設の橋梁上部工、下部工、重要構造物である内空断面積25㎡以上のボックスカルバートで、それぞれ電磁誘導法、電磁波レーダ法、電磁誘導法もしくは電磁波レーダ法で行うこととなっています。

当社では、これらの検査法に対応し、電磁波レーダ法:RCレーダハンディサーチNJJ-95A(日本無線製)、ストラクチャスキャンSIR-3000(GSSI社製)、電磁誘導法:フェロスキャン鉄筋探索システムPS200(HILTI社製)により、検査を行っております。

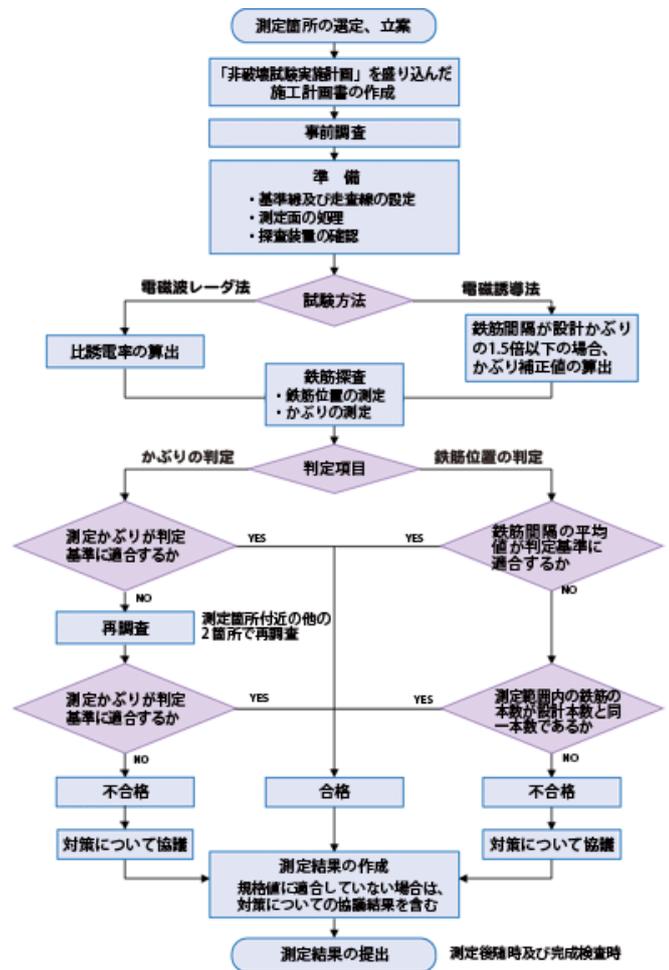


SIR-3000による探査状況

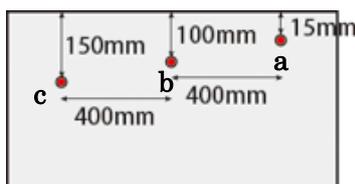
中でも、SIR-3000は、電磁波の送信方法や波形処理技術に工夫が施されているため、従来の電磁波レーダ装置に比べ、多重反射が少なく、上下方向に存在する鉄筋や近接した鉄筋の分析能力に優れています(かぶり厚さ155mm、ピッチ35mmでも分析可能)。測定深度は30cmまで可能です。

検査の際には非破壊検査を専門とする当社にぜひご相談下さい。

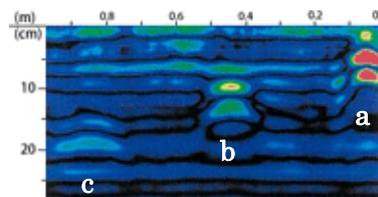
[詳細：<http://www.krcnet.co.jp/works/works035.html>]



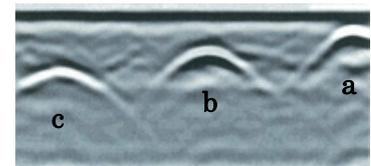
検査フロー



鉄筋探査対象物



RCレーダ測定結果



SIR-3000測定結果

国土交通省大臣官房技術調査課「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領(案)」より

(株)計測リサーチコンサルタントへのお問い合わせは、

電子メール：krc@krcnet.co.jp HP：<http://www.krcnet.co.jp/contact/contact.htm> で承っております。